

始めるなら、今! 4月10日(金)まで

お申し込みの方の中から抽選で  
最新タブレットをプレゼント!朝日新聞  
DIGITAL  
詳しくはこちら!

## 道路にも北陸新幹線 バリケードにデザイン、購入も可能

大坪実佳子 2015年3月4日15時48分



北陸新幹線の新型車両W7系をデザインしたバリケード  
= 4日午前10時16分、富山市総曲輪2丁目、寺脇毅撮影

14日の北陸新幹線開業に向け、駅整備や道路工事の進む富山市中心部。通行規制用のバリケードに新型車両「W7系」がズバリ描かれている。インターネット上では「青いウナギ」「オタマジャクシ」といった評判もあるが、新幹線のスピード感を表現したデザイン。「ぜひほしい。部屋に飾りたい」という鉄道ファンもいるという。

安全保安用品を扱う「仙台銘板」（仙台市）が開発。樹脂製で、上下に鉄パイプを渡す。2006年以降、サル、シカといった動物や熊本県の「くまモン」などのゆるキャラのバリケード18種類を製作・レンタルしてきたが、「新幹線開業を盛り上げたい」と初めて鉄道を手がけた。



W7系は、正面から描くとアニメキャラクター「きかんしゃトーマス」のようになり、特徴的な流線形を表現するのが難しかった。試作を重ね、昨年からは工事業者に1日あたり1台約200円でレンタル中。北陸新幹線が走る石川、富山、新潟、長野4県で約7千台が使われている。

開業ムードを高めるために目立たせようと、表面の反射シールは通常より4倍光る素材を使用。夜道で車のヘッドライトが当たった際の輝きは抜群だ。このデザインを発案した同社金沢営業所の神尾裕幸所長（52）は「ドライバーから『危なくなっていていいね。ありがとう』と言われ、うれしい」と話す。

希望する鉄道ファンには1台3500円（税別）で譲っており、これまでに数台が売れた。同じデザインの携帯ストラップも金沢、富山の営業所限定で1個200円（税別）で販売。売り上げは東日本大震災の被災地へ全額寄付している。問い合わせは同社金沢営業所（076・275・6855）へ。（大坪実佳子）

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.